

工作会 活動記録(平成30年12月)報告書

報告者:中尾正和

行事名	工作会研修「干支工作」、「しめ飾り」
実施日時	2018年12月 5日(水曜日) 9時30分 ~ 14時30分 天候:曇り
場所	売布ぷらざこむ1 2F 21・22号会議室
担当	中尾、宮川、新宅、石堂
参加人員	MNC 39名
参加者氏名	フリー: 中尾 1班: 平山、宮川、松田(輝)、橘、木茂、斉藤(志)、吉田、澤井、藤原(泰)、中村(幸)、荒井、鹿本、藤原(泰)、林 14名 2班: 松田(秀)、今西、松生、大橋、笠間、多田、田中、小林、森本、西岡、牛塚、竹内、小山 13名 3班: 永田、飯盛、詠田、沼田、青山、永野、香川、新宅、石原、藤野、石堂 11名
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正月飾りの「干支工作(亥)」と「しめ飾り」を作った</li> <li>・干支のイノシシには、タイサンボク、マツボックリ、ススキなどをベースにした3種類のサンプルを提示し、各自好みの1種類を選んでそれぞれ工夫を凝らして作り上げた。タイサンボクのイノシシは、子ども向けイベントの出しものの定番のウリボウをベースにした。ススキのイノシシは、ススキの穂を束ねてボンド接着して胴体に仕上げた(宮川さん提案)。マツボックリのイノシシは、マツボックリとドングリ殻斗をベースにして作った。</li> <li>・しめ飾りは、購入縄(太さ 16ミリ、長さ120センチ)に、絵馬、金銀水引きなどの人工物と、松の葉、ナンテンの葉・実、マツボックリ、ツルウメモドキ実、クロガネモチ葉・実、などの自然物を使って飾り付けをした。</li> </ul> <p>【当日のスケジュール】</p> <p>午前:9時30分~11時30分 干支工作、しめ飾り工作</p> <p>午後:11:30-12:20 工作会の幹事・班長/副班長(運営委員会)</p> <p>12:45-12:55 班会議</p> <p>12:55-午前の作業の継続、ぷらざこむ親子、安倉やまぼうしの出前工作準備</p> <p>14:00-14:15 あと片付け</p> <p>14:15-14:25 まとめ・連絡事項…今後の予定など</p>
まとめ感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月度は、正月飾りとして定番の干支工作に加え、今回初めてしめ飾りを作った。</li> <li>・干支亥の工作では、3種類のタイプのサンプルを提示し、各自の好みのイノシシに仕上げても良かった。なかでも宮川さん提案のススキの穂を使ったイノシシ作りは、少々手間がかかり難しかったようであったが、かなりの皆さんが挑戦していた。出来栄はどうかであったでしょうか?</li> <li>・しめ飾りは、自然物、人工物の飾り付けに各自の工夫が見られた。特に女性陣の作品にはセンスのよさが感じられた。</li> <li>・干支工作、しめ飾りとも多少の出来不出来があったとしても皆さんの手で作り上げたことに値打ちがあります。来るお正月には是非ともご家庭に飾って頂くようお願いいたします。</li> </ul>

(記録写真は次ページ)

【工作写真】

サンプル  
(ススキタイプ)



サンプル  
(タイサンボクタイプ)



サンプル  
(マツボックリタイプ)



工作風景 (しめ飾り)



工作風景 (しめ飾り)



工作風景 (干支)



作品例 1



作品例 2



作品例 3

